

神戸市会だより

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

[神戸市会 | 検索](#)

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

2月議会の開会によせて

新型コロナウイルスの感染による影響が依然として続く中、神戸市会では、市当局とともに市民の命と健康を守り、神戸経済を回復させるため、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んできました。

医療、保健、介護の現場を支えてくださっている多くの方々、感染対策に協力してくださっている事業者の方々、そして市民の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

2月議会は令和4年度の予算案を審議する重要な議会です。喫緊かつ最優先の課題である新型コロナ対応に万全を期すとともに、人口減少や少子超高齢社会の進展、社会保障経費の増加、東京一極集中など新型コロナ出現前から存在する課題にも対応していく必要があります。幅広い見地と多角的な視点による活発な議論を通して、提案された内容を厳正に審査してまいります。

また、昨年は議会改革に取り組む中で、ペーパーレス会議の実施や緊急時のオンラインによる委員会出席を可能にするとともに、初の委員会提案となる政策提案条例「神戸らしいファッション文化を振興する条例」が成立しました。

私たち神戸市会議員は、今後も引き続き議会改革を推進するとともに、政策立案・政策提言を積極的に行うなど、ポストコロナ時代に対応した、これまで以上に素晴らしい神戸のまちを創り上げていくため、全力を尽くしてまいります。



議長
坊 やすなが



副議長
沖久 正留

2月議会に向けて

令和4年度の予算審議(2月議会)に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

東灘区														
	上島 寛弘	浦上 忠文	大野 陽平	北川 道夫	外海 開三	辻 康裕	西 ただす	松本のり子	安井 俊彦	やの こうじ				
	自由民主党	つなぐ	自由民主党	公明党	日本維新の会	日本維新の会	日本共産党	日本共産党	自由民主党	立憲民主党				
	灘区							中央区						
		味口としゆき	諫山 大介	川口 まさる	小林るみ子	高瀬 勝也	吉田 健吾		あわはら 富夫	岡村 正之	沖久 正留	河南 ただかず		
		日本共産党	共創・国民民主	日本維新の会	つなぐ	公明党	自由民主党		つなぐ	自由民主党	公明党	自由民主党		
		兵庫区								北区				
			三木 しんじろう	よこはた 和幸	大かわら 鈴子	菅野 吉記	平野 達司		村上 立真		朝倉 えつ子	池田 りんたろう	伊藤 めぐみ	
		日本維新の会	立憲民主党	日本共産党	公明党	自由民主党	無所属		自由民主党	日本共産党	立憲民主党	立憲民主党		
	長田区							長田区						
植中 雅子		上原 みなみ	五島 大亮	堂下 豊史	徳山 敏子	坊 やすなが	山本のりかず		ながさわ 淳一	軒原 順子	平井 真千子			
自由民主党		無所属	自由民主党	公明党	公明党	自由民主党	日本維新の会		日本維新の会	公明党	自由民主党			
須磨区											垂水区			
		森本 真	安達 和彦	大井 としひろ	門田 まゆみ	住本 かずのり	松本 しゅうじ		村野 誠一	山本 じゅんじ		今井 まさこ		
		日本共産党	自由民主党	国民民主党・友愛	公明党	日本維新の会	無所属		自由民主党	日本共産党		日本共産党		
		西区												西区
	大澤 和士		岡田 ゆうじ	川内 清尚	さとう まちこ	しらくに 高太郎	高橋 ひでのり	たなびき 剛	平野 章三	壬生 潤		香川 真二		
	公明党		自由民主党	国民民主党・友愛	日本維新の会	自由民主党	つなぐ	立憲民主党	無所属	公明党		つなぐ		
	西灘区													
			かじ 幸夫	黒田 武志	高橋 としえ	林 まさひと	藤本 浩二	坊池 正	前島 浩一	山口 由美		山下 てんせい	吉田 謙治	
立憲民主党			日本維新の会	日本維新の会	日本共産党	公明党	自由民主党	共創・国民民主	自由民主党	自由民主党	公明党			

※議員名下の表記は党派名・区ごとに氏名50音順

本会議での一般質問から

12月7日・8日の本会議では、一般質問が行われました。その主な内容をご紹介します。

(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)



まちづくり

信号のない横断歩道の安全対策

— 12月7日の一般質問から —

むらの せいいち 村野 誠一議員(自由民主党、須磨区)



- Q 信号のない横断歩道は歩行者優先が法律上規定されているが、市内には渡ろうとする歩行者や横断歩道そのものが視認しにくい危険なところがある。信号設置については兵庫県警の判断により、時間もかかり簡単ではない。信号が設置されるまでは、横断歩道の視認性の向上など、市として主体的・積極的に歩行者などを事故から守る安全対策を実施するべきではないか。
- A 特に通学路における危険な横断歩道について、視認性向上のための着色を進めるとともに、夜間における視認性も確保できるよう照明や車のライトで反射する材料を使用するなど検討していきたい。

里山・農村地域のさらなる活性化

— 12月7日の一般質問から —

ぼういけ ただし 坊池 正議員(自由民主党、西区)



- Q これまで里山・農村地域のさらなる活性化として規制緩和を進めるとともに空き家改修補助などを実施し、移住・起業に成果があったが、起業にあたっては地域の「里づくり計画」への位置づけが必要であり、立地までに時間がかかるケースがある。地域・起業者双方にとって負担とならない手続きに改善すべきではないか。
- A 規制緩和策と移住促進支援をパッケージで進めてきたが、負担軽減のため、里づくり計画策定に代え、「里づくり協議会または自治会の承諾」を要件とする改正を行う。また空き施設の活用など、規制緩和の可能性を模索していきたい。

ポートアイランドの活性化

— 12月7日の一般質問から —

みき 三木 しんじろう議員(日本維新の会、中央区)



- Q ポートアイランドの持続的な活性化に向け、地域住民の目線に立ち、さらなる取り組みの強化が必要である。例えば「道の駅」や「ファーマーズマーケット」などで地産物を販売提供し、生産者と消費者を継続的につなぐ事により「食都神戸」のさらなる推進にも寄与すると考えるがどうか。
- A ポートアイランドの活性化は非常に重要であり、「道の駅」もその一つの可能性を持った方策であると考えている。「ファーマーズマーケット」の開催や、「キッチンカー」の展開も含め、ソフト施策も組み合わせながら、ポートアイランドの活性化に取り組んでいきたい。

王子公園・動物園再整備

— 12月8日の一般質問から —

おお すずこ 大かわら 鈴子議員(日本共産党、兵庫区)



- Q 王子公園の「再整備基本方針(素案)」が示され、市民から「遊園地やプール、テニスコートを無くさないでほしい」などの声が上がっているが、これらの声を聞かず再整備を進めようとしている。市民不在の再整備計画は撤回すべきと考えるがどうか。
- A 基本方針の検討にあたっては、地域の方々と意見交換をしながら進めてきており、いただいた意見を踏まえ、エントランスゾーンの整備、動物園のリニューアルなどを素案に盛り込んでいる。今後、パブリックコメントでも幅広く意見を伺いながら、地域の活性化につながる再整備となるよう検討を進めていきたい。

ストリートテーブル、サンノミヤミュージックステージなど

— 12月8日の一般質問から —

ひらの しょうざん 平野 章三議員(無所属、垂水区)



- Q JR三ノ宮駅前を暫定利用したストリートテーブルなど、音楽と屋台やキッチンカーを組み合わせた取り組みの狙いは何か。また、各局のノウハウを共有できる音楽のまち神戸プロジェクトチームが出来ないか。
- A 市民・来街者が音楽やグルメなどを楽しみ、わくわくする体験ができる都心三宮を目指したにぎわいづくりの取り組みを進める。音楽中心の街づくりも大変重要なので、街を盛り上げるエリアマネジメント組織の編制も検討したい。

国際コンテナ戦略港湾政策における神戸市の役割

— 12月8日の一般質問から —

むらかみ たつま 村上 立真議員(無所属、兵庫区)



- Q 国の国際コンテナ戦略港湾政策において、神戸市のソフト面での役割は、港湾管理者として培ってきた経験・知識、国や業界との人脈・信頼関係を活かし、国への政策提案や業界との調整を主体的に行っていくことではないか。
- A 引き続き港湾業界のニーズをよく聞き、国際コンテナ戦略港湾としてさらなる港勢拡大を図れるよう国への政策提言や業界との調整を密に行い、スピード感を持って政策を進め神戸経済をより活性化していきたい。

暮らし

「神戸市人と猫との共生に関する条例」施行後の成果と課題

— 12月7日の一般質問から —

すがの よしのり 菅野 吉記議員(公明党、兵庫区)



- Q 神戸市人と猫との共生に関する条例の施行から5年目を迎えるが、その成果と課題を専門的意見を踏まえ検証し、さらなる条例の遂行を目指すべきではないか。
- A 人と猫との共生推進協議会による野良猫の繁殖制限事業によって、動物管理センターでの猫の引き取り数の減少などの効果があったが、繁殖制限要望は減少していないことから、市獣医師会に専門的意見を求めながら事業を検証し効果的手法を検討したい。また、地域猫活動には地域理解が不可欠であることから、活動団体がその目的・意義を地域へ説明できるリーフレットを作成するなどの支援策を検討したい。

気候変動対策

— 12月8日の一般質問から —

やまもと 山本 じゅんじ議員(日本共産党、須磨区)



- Q 地球の平均気温をプラス1.5度以内の上昇に抑えるためには、2050年までの温室効果ガス排出量を実質ゼロにしなければならないが、市内では神戸製鋼所の石炭火力発電所の3・4号機が新たに稼働されようとしている。脱炭素の流れに逆行するものであり中止を求めるべきではないか。
- A 国は当面の間、石炭火力発電は電力の安定供給の面で必要であるとしている。神戸製鋼所の石炭火力発電に係るCO2削減対策の履行状況は、環境アセスメントの事後調査や環境保全協定に基づき確認するとともに、カーボンニュートラルの実現に積極的に取り組むよう強く働きかけていきたい。

歴史・公文書館の整備

— 12月8日の一般質問から —

こばやし りんこ 小林 るみ子議員(つなぐ、灘区)



- Q 歴史・公文書館の整備が予算化され、館内に神戸の歴史を回顧できる常設の展示室を整備・検討していくとのことだが、施設整備にあたっては戦争を風化させないよう取り組んでいる多くのグループや地域団体との懇談や意見を聞く場を持つべきと考えるがどうか。
- A 歴史・公文書館は、歴史的・文化的に価値のある公文書や、市史編纂の目的で収集した資料などを適切に保存し、また市民にも有効に利用していただくための施設として検討・調整している。神戸空襲や戦災に関する展示についても、必要に応じて有識者や市民などから意見を伺いながら検討していきたい。



西神中央駅商業施設の
駐車サービス統合

— 12月8日の一般質問から —

まえじま こういち
前島 浩一議員(共創・国民民主、西区)



- Q 西神中央駅周辺駐車場サービスの統合化について、「エキソアレ西神中央」の運営を担う双日との間で、新たな運営主体となるOMこうべのウエストメンバーズカードを活用した駐車サービスの共通化など、駐車サービスの見直しを図るべきではないか。
- A 機器やシステムの共通化により利便性の向上が期待できるので、「エキソアレ西神中央」に隣接する西神中央駅駐車場でも同カードの割引サービスが受けられるようOMこうべと協議を進めたい。また、双日との協議では、駐車場の件も含め、エキソアレを最大限に魅力的な施設として運営されるよう要望している。

健康・福祉

社会活動の正常化に向けた
コロナ対策

— 12月7日の一般質問から —

うえはた のりひろ
上島 寛弘議員(自由民主党、東灘区)



- Q 一定数の市民がワクチン接種を終え、今後は一人ひとりが自らの耐性を把握したうえで行動範囲を選択できるようにすべきである。コロナの感染や発症に重要とされる抗体量を基にした行動基準を明示することで、感染対策の徹底と社会活動の正常化の両立が可能だと考えるがどうか。
- A コロナ対策としては、引き続きワクチン接種などを進めるとともに感染対策と日常生活を両立させる取り組みが必要である。抗体量を基にした行動基準は有用な方法と考えるが、市民が自ら抗体量を把握するには検査頻度や体制、費用負担など課題があり、国の動向を注視したい。

マギーズ神戸※1誘致

— 12月8日の一般質問から —

まつもと しゅうじ
松本 しゅうじ議員(無所属、須磨区)



- Q 独自のがん対策の推進のため「マギーズ神戸」実現に向けた動きが加速している。医療産業都市を推進する神戸市として、ポートアイランドの土地を提供するなど誘致場所などの支援はできないか。
- A マギーズ神戸プロジェクトの事業化を考えるにあたり、設置場所について、立地環境や必要な面積などの希望があれば相談に応じたい。また、メディカルクラスターの医療機関との連携などの希望があれば、必要な対応を行っていききたい。

教育・子ども

里親・里子への支援

— 12月7日の一般質問から —

うえはた のりひろ
上島 寛弘議員(自由民主党、東灘区)



- Q ささまざまな事情を抱え、家族と離れて暮らす子どもたちのため里親制度があるが、普及には課題が多く、特に義務教育終了後の支援が十分とはいえない。国が里親を大幅に増やす目標を掲げるなか、神戸市でも制度の認知度向上や経済的な支援に注力して里親になることへの不安解消に取り組むとともに、進学へのサポートも行うべきではないか。
- A 里親・里子に対する支援は、もっと力を入れていかなければいけない分野である。里親制度を今後より普及させていくため、単に啓発にとどまることなく、里親に対する直接的な支援を拡充することも含め、検討したい。

生徒のための校則への転換

— 12月8日の一般質問から —

うえはら みなみ
上原 みなみ議員(無所属、北区)



- Q 現状の校則は「子どもたちのため」ではなく、「学校・教員が子どもたちの統率を図るため」に定められている。子どもの権利の理解を教員・児童生徒に十分深めたうえで、校則の見直しを行うように改めて通達を出していただきたい。
- A 各校で行った見直し作業の結果を集約し検証した上で、必要に応じてガイドラインの見直しを行う。その際に子どもの権利の理解を踏まえた議論や見直しについて、改めて各校に周知を図っていききたい。

行 財 政

外郭団体改革

— 12月7日の一般質問から —

おかだ ゆうじ
岡田 ゆうじ議員(自由民主党、垂水区)



- Q 市長の施政方針では外郭団体改革について触れられていない。「行財政改革2025」では外郭団体の役割の継続的な見直し・経営体質改善が重点項目に位置付けられたが、削減と改革が続けてきた外郭団体数が26年ぶりに増加に転じた。外郭団体改革にどのように取り組むのか、見解を伺いたい。
- A 外郭団体の見直しに継続して取り組んでおり、令和3年8月には「外郭団体の抜本的な見直し方針」を公表し時代に適合した外郭団体の活用、新設、廃止など団体のあり方をゼロベースで見直ししていく。現在各団体に「経営改革プラン」の策定を求めており令和3年度中に公表したい。

商品用軽自動車税の
課税免除

— 12月7日の一般質問から —

すがの よしり
菅野 吉記議員(公明党、兵庫区)



- Q 商品用軽自動車税の課税について、市の条例で「商品であって使用しない軽自動車等に対して種別割を課さない」としているが、ナンバープレートの有無で課税を判断しており、ナンバープレートが付いたまま取り扱われることが多い中古自動車は、商品であるにもかかわらず課税されている。商品である軽自動車は課税免除とすべきではないか。
- A 中古車販売業者に対する軽自動車税の取り扱いについて、商品用として認められる軽自動車は令和4年度から課税免除としたい。先行して課税免除を実施している政令市などの制度を参考に準備を進め、制度の周知を徹底する。

新長田駅再開発事業

— 12月7日の一般質問から —

じゅんいち
ながざわ 淳一議員(日本維新の会、長田区)



- Q 新長田再開発事業の市債残高は令和元年度時点で221億円であり、令和2年度も20億円以上を償還している。一方、市の保留床の収入は2億円であり、差額は一般財源からの繰り出しにより対応していると聞かすが、このような現状を市としてどのように認識しているのか。
- A 一般会計投入については、有識者会議の議論を経て市の最終報告書では「震災復興としての公共的な意味合いの強い事業であり、さまざまな事業効果を考えると一定の一般会計繰入には相応の理由がある」としているが、保留床の売却方法を工夫するなど、一般会計繰入金金の縮減に最大限努力していききたい。

民間人材の副市長登用

— 12月8日の一般質問から —

かずゆき
よこはた 和幸議員(立憲民主党、中央区)



- Q 交通局長に民間人材が登用されるなど、神戸市でも多くの民間人が雇用され、有能な人材が集積し、組織が活性化されていると感じている。民間の新しい知見は必要であり、条例で定数は決まっているものの、一歩踏み込んで民間人の副市長を登用してはどうか。
- A 現在の3人の副市長は適切に市長の補佐を行っているため、引き続き現体制を維持したいと考えている。行財政改革で職員削減を進めている中、民間人材を4人目の副市長として登用することは適切ではないが、民間人材や女性の登用については、行政委員会の委員も含めて積極的に進めていきたい。

その他

選挙の取り組み
(投票機会の確保)

— 12月7日の一般質問から —

ふじもと こうじ
藤本 浩二議員(公明党、西区)



- Q 期日前投票者が約22万8千人と増加する中、選挙公報を1日でも早く届けるべきではないか。また、郵便投票制度の拡充や投票所の駐車場確保を図るべきである。また、投票管理者などの報酬を増額すべきではないか。
- A 兵庫県選管とも調整し、選挙公報を少しでも早く有権者に配布できるよう努める。また、郵便投票制度の適用拡大などを国に対し引き続き要望するとともに駐車場の確保も含め有権者が利用しやすい投票所となるよう取り組んでいく。投票管理者などの報酬については、法律規定の額を根拠としているが、国の動向や他都市の状況を踏まえ対応したい。

選挙公報の配布

— 12月8日の一般質問から —

おおい としひろ
大井 としひろ議員(国民民主党・友愛、須磨区)



- Q 令和3年10月の衆議院選挙・市長選挙の際、須磨区で約7万9千世帯中、約1万9千世帯への選挙公報の配布漏れが判明した。区選管のずさんな取り扱いや業者への丸投げがこの事態を招いたと考えられるが、市選管としてどのように責任を感じているのか伺いたい。
- A 市選管としても事態を大変重く受け止めており、再発防止のため各区選管に対し「次回選挙に向けて、法定期日までに確実に選挙公報を配布できる体制を確保し、適正に選挙を管理執行するよう求める」旨の文書を発出した。今後、監査委員の検証を経て、有権者に確実に選挙公報を配布できる方策を検討する。

用語説明

※1 マギーズ…イギリスでがん患者の相談支援センターとして発祥した施設。国内では東京に唯一開設され、病院とは異なる建物で看護師などの専門職が患者、家族からの相談に対しサポートを行っている。

令和3年度神戸市 一般会計補正予算 などを可決

令和3年第2回定例会市会【11月議会】が11月29日から12月8日まで開かれ、令和3年度補正予算・条例改正などの議案の審議などが行われました（市長提出28件、議員提出1件、合計29件）。

また、12月22日に臨時市会が開かれ、「子育て世帯への臨時特別給付金」10万円の現金一括給付に伴う令和3年度補正予算の議案の審議が行われました（市長提出1件、合計1件）。

議決した主な議案

令和3年度補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症対策
(11月補正の主な内容)

- ワクチンの追加接種(3回目)の実施など
 - PCR検査などの実施
 - 後遺症に関する相談体制の構築
 - 保健所業務のデジタル化
- (12月補正の主な内容)
- 生活困窮世帯への臨時特別給付
 - 子育て世帯への臨時特別給付

議員提出議案

- 神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
神戸市市会議員の期末手当の支給月数を0.15月引き下げる改定を行いました。

人事案件

人権擁護委員候補者16名の推薦について支障なしと答申することを決定しました。

令和3年 第2回定例会市会 【11月議会】の動き

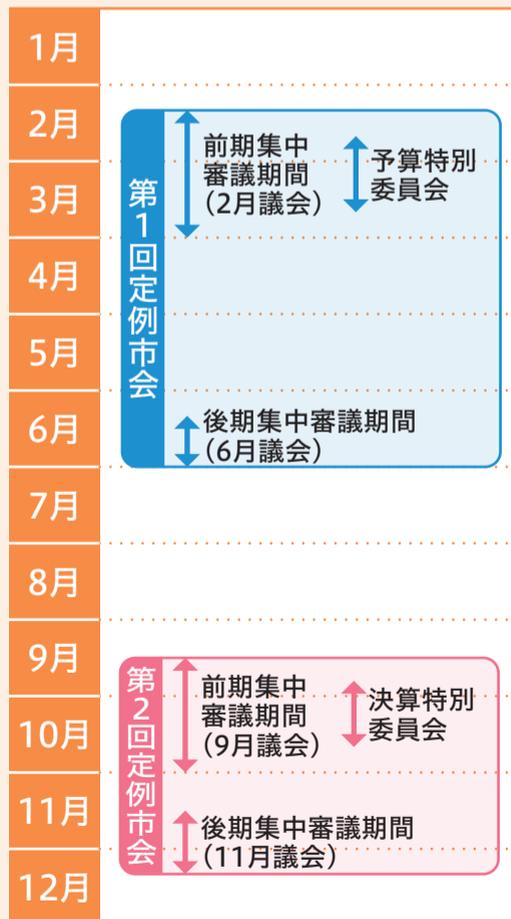
- 11月29日**
 - 3年度補正予算などの議案の提案・質疑
 - 議員提出議案の提案・採決
- 11月30日・12月1日**
 - 3年度補正予算などの議案および陳情の審査
- 12月6日**
 - 人事案件
 - 3年度補正予算などの議案の採決
 - 3年度補正予算の議案の追加提案
 - 追加議案の審査
- 12月7日・8日**
 - 追加議案の採決
 - 一般質問 (2・3面でご紹介)
 - 閉会

令和4年第1回定例会市会(2月議会)について
令和4年2月17日(木)から3月31日(木)の予定です。

令和3年12月 臨時市会の動き

- 12月22日**
 - 3年度補正予算の議案の提案・採決
 - 3年度補正予算の議案の審査

今年の市会会期予定



- 神戸市会は2会期制となっています。各会期においては、2回の集中審議期間を設けています。
- 市会開会期間以外でも、6つの常任委員会、特別委員会などは、必要に応じて開催します。

インターネット中継もご覧ください

本会議および委員会はインターネット中継を行っていますので、ぜひご利用ください。概ね過去2年間に開催された会議についての録画映像もご覧になれます。

また、本会議は市役所1号館1階でもモニター中継を行っています。

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の一般傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席は間隔を空けて身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いします。また、発熱(37.5度以上)など風邪症状がある時は傍聴をご遠慮ください。

神戸市会 中継 | 検索

